

報道機関各位

県土整備部 整備企画課

～i-Construction 新技術体験学習会を開催します（当日取材依頼）～

建設業の次世代を担う若手技術者育成を目的として、八戸工業大学の学生向けに、新技術体験学習会を開催します。

学習会では、建設分野の新しい技術であるDX技術を使用した機材を、学生が実際に手に取り、操作しながら体験する予定ですので、当日、取材くださいますようお願いいたします。

1. 日 時 令和8年10月20日（火） 10：30～12：00
12月10日（木） 14：30～16：00
2. 会 場 八戸工業大学（八戸市大字妙字大開 88-1）
1号館2階 多目的ホール
3. 対 象 2日間で八戸工業大学の2～4年生から、合計55名程度が参加する予定です。
4. カリキュラム

項目	摘要
① 3次元点群データ作成体験	当日は学生が4種類のブースを巡回し、体験していただく予定です。 ※詳細は別紙参照 ※青森県主催、国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所のサポートにより実施します。
② VR 体験 ・ 橋梁上部工工事、ドローン空撮映像	
③ MR 体験 ・ 橋脚鉄筋	
④ 遠隔臨場体験	

※参加人数の状況等に応じて、実施内容を変更する場合があります。

5. その他

- ・ 取材を希望される方は、お手数ですが各開催日の前日16時までに、下記担当者までご一報くださるようお願いいたします。
- ・ 災害の発生等により中止する場合は、各開催日の前日14時までに判断します。

報道機関用提供資料		
担当課 担当者	県土整備部 整備企画課 企画・防災公共推進グループ GM 川村 明生	
電話番号	直通	017-734-9643
	内線	6676
報道監	県土整備部 次長 鈴木 英宗	

体験内容のイメージ

i-Construction 新技術体験学習会 | 八戸工業大学



取材の見どころ

学生がVR・MRゴーグルを装着するほか、3次元点群データ作成・遠隔臨場の機器を実際に操作します。



1 3次元点群データ作成体験

写真から3次元点群データを作成

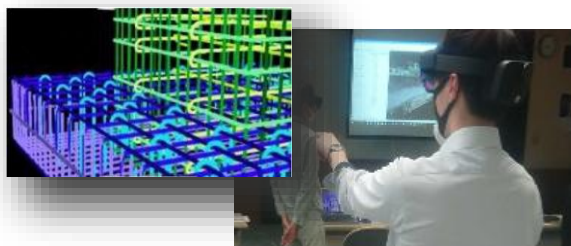
災害等により人が近づけない現場でも、安全な場所から写真を撮るだけで、状況をいち早く確認できます。



2 VR（仮想現実）体験

橋梁架設工事を仮想空間で疑似体験

学生がVRゴーグルを装着し、橋梁仮設工事などの様子を、仮想空間で疑似体験します。ゴーグルを装着した学生の反応が見どころです。



3 MR（複合現実）体験

現実世界に、仮想3次元モデルを融合

現実世界に仮想3次元モデルを重ね合わせ、コンクリート中部の鉄筋など、通常は見えない構造を可視化します。



4 遠隔臨場体験

離れた現場の映像を、会話しながらリアルタイムで確認

現場へ行かずに現地の状況を確認できる仕組みを、学生が操作しながら学びます。

当日は学生が4種類のブースを巡回し、体験していただく予定です。

※参加人数等に応じて、実施内容を変更する場合があります。

昨年度参加者アンケート結果（R7.7.10開催／参加37名中29名回答）

100% 体験が勉強になった

約93% 建設業に興味を持った

約79% 建設業が職業候補の1つである

「建設業に対するイメージが変わった」などの声をいただきました。